SAIJO

2016-2017

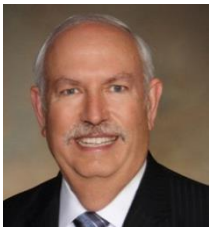
9月号

西条ライオンズクラブ会報誌 No.471

第 26 回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会

2016-2017 年度　ライオンズクラブ国際協会会長　　ボ ブ ・ コ ー リ ュ ー

テーマ　「次なる山を目指して」



2016-2017 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　　真 鍋　隆

スローガン　「100周年、夢と誇り ・ 笑顔と絆で We Serve」

キーワード　「　挑む　」

2016-2017 年度　2R4Z　西条ライオンズクラブ会長　　今 岡　正 士

「忘れない！笑顔と感謝 100 年分の思いやりを We Serve」

キーワード　「　出会い　」

第1回ゾーンレベル会員委員会
並びに第1回地区ガバナー諮問委員会　出席報告

会計　安藤憲正

8 月 31 日（水）「通所介護センターまほろば 2F 会議室」にて上記委員会が開催されました。会議は「ペーパーレス」ということで配布資料がなく、前面のスクリーンを見つめ説明を聞くことに意識を集中させました。しかし、集中は続くものではなく、スクリーンは角度や距離で見えづらい席もあるだろうし、タイミング良くメモを取ることもできません。限りある資源ということで「ペーパーレス」の方向性には賛成です。
今後のペーパーレス会議では、座席にタブレットがあり資料を読んだり書いたりできるなど、さまざまな手段や方法が試され、洗練された会議の型ができるものと期待しています。

期首(7／1)現在　4Z会員現況

	全会員数	子会員	正会員	女性会員	非活動会員	実活動会員
西条LC	70名	21名	49名	20名	6名	43名
東予LC	37名	0名	37名	0名	0名	37名
伊予小松LC	11名	0名	11名	0名	0名	11名
西条石鎚LC	58名	25名	33名	27名	4名	29名
小計	176名	46名	130名	47名	10名	120名
2R合計	806名	153名	653名	127名	48名	605名

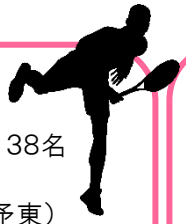
第1回ゾーンレベル会員委員会冊子添付資料より抜粋

第26回

会長　今 岡 正士

今年も、夏恒例の西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会が８月７日（日）西条市東予運動公園にて盛大に開催されました。
本大会はジュニアのソフトテニスの普及と青少年の健全育成を目的として始まり、今回で２６回目を迎える事ができました。これも西条ソフトテニス連盟の石川会長を始め、父兄の皆さん、関係者の皆さんのご理解とご協力があってのことだと感謝しています。
将来を担う子供たちの為にも、これから先３０回、４０回と継続して行ってまいりたいと思います。
この大会は、西条市内の全ての中学校１．２年生の男女ペア総勢２６６名の参加を頂き昨年同様、大きな大会となりました。
当日は好天にも恵まれ、男子の部、女子の部、共に素晴らしい熱戦が繰り広げられました。ペアということで、互いに息の合ったプレーを見ることができ、また選手の皆さんが、日頃の厳しい練習の成果を存分に発揮して、最後の１球まで試合をあきらめずに全力で戦う姿に感動致しました。
選手の皆さんがこのソフトテニスを通してチームワークの大切さ、仲間との絆、また心身ともに健康な人間に成長されることを心より願っています。

第２６回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会の成績は下記の通りとなっています。

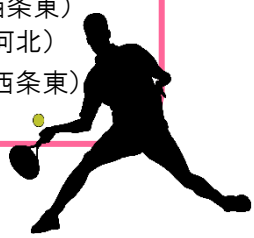


【男子の部】
参加ペア　69チーム　　総数　138名

優　勝	工藤･武田ペア（東予東）
準優勝	浜田･福岡ペア（河北）
３　位	宮原･日野ペア（西条西）
３　位	小松･高橋ペア（東予西）

【女子の部】
参加ペア　64チーム　　総数　128名

優　勝	渡邊･松木ペア（東予西）
準優勝	伊藤･秦　ペア（西条東）
３　位	星川･川又ペア（河北）
３　位	近藤･徳永ペア（西条東）



8月第1例会

夏の家族例会　～ドルフィンパーク＆潮流体験～

出席計画委員会　清水泰雅

７月３１日の日曜日は、真夏の暑い夏を満喫するには最高のかき氷日和でした。
総勢７９名、大型バス２台などで、しまなみ海道の伯方島と大島に行ってきました。今年開業したばかりの話題の「ドルフィンファームしまなみ」、食事には大島の「千年松」、そして来島海峡の潮流体験です。

「ドルフィンファームしまなみ」は、伯方島の道の駅 SC パークの横に位置していて、海水浴場のそばに２つのいけすの中にイルカがいます。

携帯の動画をあとで見せてもらったのですが、イルカの背びれにつかまって安全に子供たちはそれぞれ泳いだようで、貴重な楽しい体験になったと思います。私は少し離れたところでちょっとだけ釣りをしていました。海を覗くとたくさん魚が見えて、アジを３匹ほど釣り上げることができましたが、近くで中学生が飛び込み大会を始めてしまい、そこで断念しました。

ドルフィンファーム　しまなみ

昼食会場　　千年松

大島の「千年松」は大島の南の先にある民宿で、名物の“鯛の炮烙焼（ほうろくやき）”や“生の海栗”などの美味しい料理をいただきました。

村上水軍が活躍した戦国時代の炮烙玉（ほうろくだま）という手投げ弾から発案した料理だそうで、鯛に添えられていた卵はそこからきているようです。

ほろ酔い気分でお腹もいっぱいになったところで、大島の下田水港から、急流観潮船に乗りました。残念ながら干潮に近い時間帯でしたので、うず潮は見れませんでしたが、来島村上水軍居城跡、芸予要塞跡、今治の造船所群などを巡りました。
私は釣り人目線でしたので、魚がたくさんいそうな、馬島の周りなどを船から乗り出すようにして見ていました

今年の家族例会は、近場で非常に楽しめたと思います。準備の段階から家族で下見までして企画いただいた原委員長、さすがです。

今年度の出席計画委員会は、前年度の執行部と青少年指導委員会が合体したような強力なメンバーです。冬の家族例会も期待してください！

来島海峡急流観潮船

JAZZLIVE in HANAYAMA 募金活動報告記　　幹事　曽我部克正

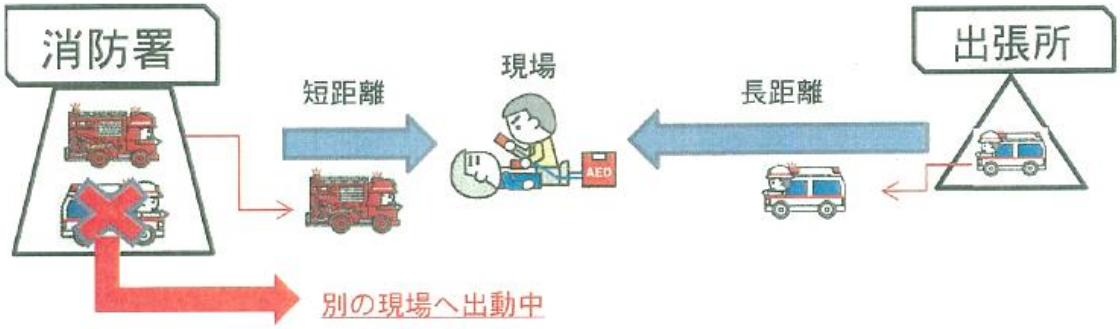
平成２６年８月６日（土）、ライダースクラブ ハナヤマさんにて開催されたコンサート会場で今岡会長と震災義援金の募金活動を行いました。
来場されたお客様のテーブルに募金箱を持って回りましたが、みなさんが気持ち良く、笑顔で寄付いただいたことに本当に感激いたしました。
合計３６，６１４円という金額が集まりました。クラブでは東日本大震災や平成 28 年熊本地震への義援金募金活動を続けていますので、今回の優しい気持ちのこもった募金も被災地へ届くことになります。その時は、またご報告したいと思います。ありがとうございました。

8月第2例会　≪ AED講習 ≫　　委員長　新田公洋

今回、ＡＥＤの使用を目的とした救命講習を当委員会で計画を致しました。
近年、ＡＥＤがあれば助かった命も残念なことに落とされたケースもあったと聞いております。そのＡＥＤの使途について西条東消防職員３名を例会に招き、心肺蘇生シュミレーションを説明、実技して頂きました。短い時間ではありましたが、解りやすい話で大変勉強になったと思います。今後、突発事故に遭遇しても冷静に、人助けの力に少しでもなれれば幸いです。

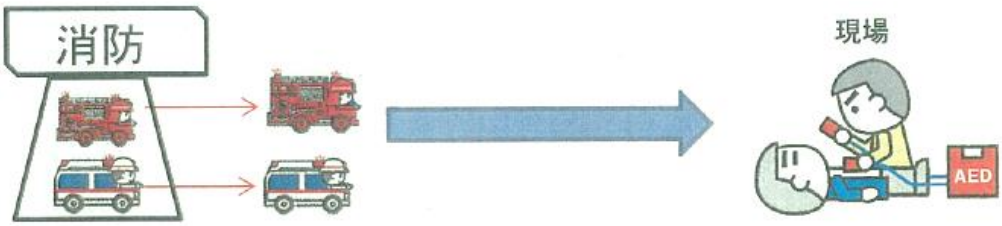
PA連携出動事例～こんな時に消防自動車と救急車が出動します～

（例１）心肺停止等が疑われ早急な対応が必要であるが、救急車の出動が重なるなど救急車が直ぐに到着できない場合



（例２）救急隊の活動を支援する必要があると判断した場合

①高所や通路が狭い場所で、救急隊だけでは傷病者の搬送が困難な場合
②国道など交通量が多い道路上で、傷病者や救急隊の安全を確保する必要がある場合
③心肺停止等重傷な傷病者に対しての救急活動で高度な救命処置を行う場合等



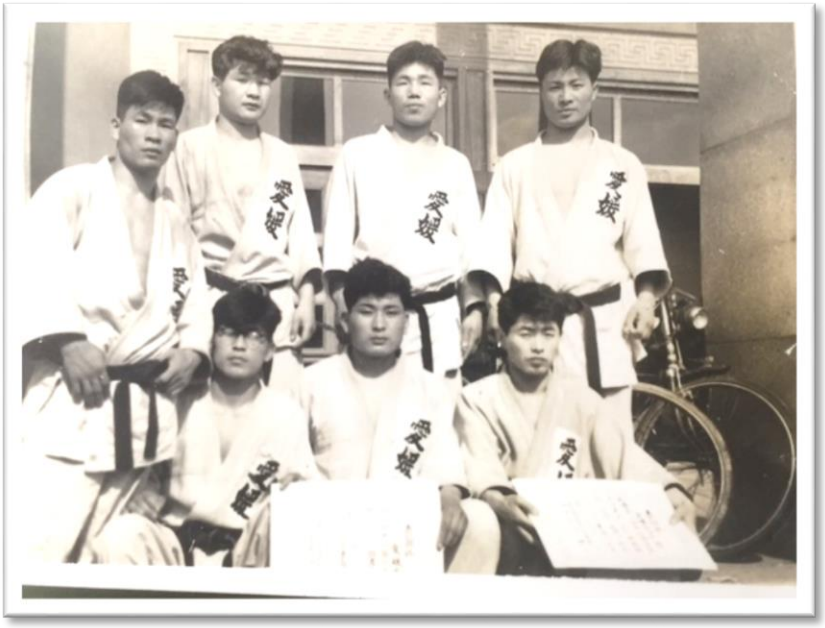
消防署からのお願い

PA連携活動は、平成27年1月1日から運用を開始しております。
出動する消防車には、救急技術の有資格者が乗車しさらにAEDや人工呼吸器等の資器材を積載しています。この活動を通じて、現場到着時間の短縮や救命率のアップなど、市民サービスの向上を図ることができます。
今後、救急車を要請した場合でも消防車がサイレンを鳴らし出動する場合があり驚かれることもあるかと思いますが、救命優先の活動にご協力をお願い致します。

思い出の一枚

今年度新企画シリーズ

メンバーの懐かしの
１枚を誌面で紹介し
ていただきます。

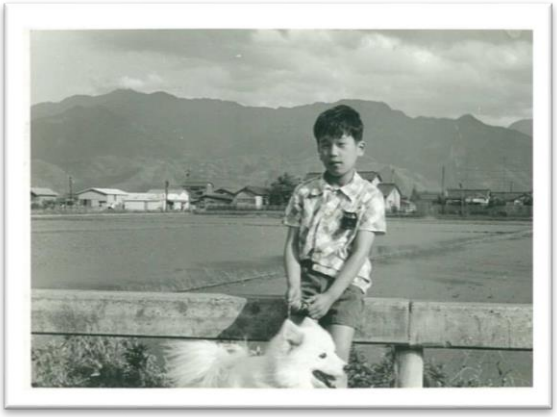


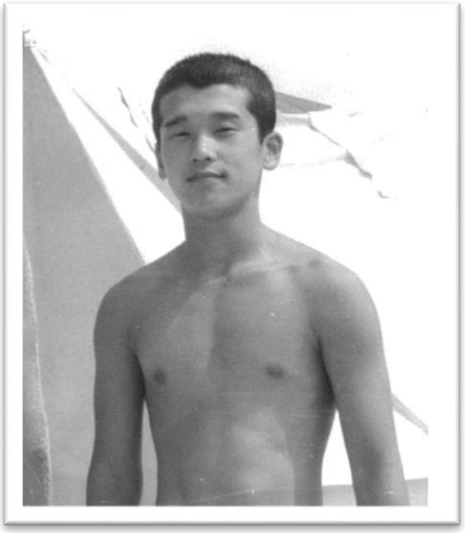
Ver. 1　青春時代との決別のころ

写真は 1955 年頃のものと思われる。この写真のすぐ横の写真の添え書きに 1995 年の四国大学対抗優勝記念とあるから、この写真も同年か翌年と思われる。
当時はまだ柔道に熱を上げていたものであろう。大学３年になったら当面の就職試験とその後の司法試験受験を考えねばならないと思っていたはずであるからである。それで大学２年までは精一杯青春を謳歌しようと思っていたはずである。柔道にも熱中したであろうし、多感な青春時代の思い出の一つとして女性がらみのロマンスも作ろうと思ったはずであろうが、結局そちらは不発に終わったようである。
なにさま古いことなので記憶に残ってない。
　考えてみれば 1955 年といえば 61 年前のことになる。どこでどういう経緯で誰が撮ったのかも思い出せない。まさに「光陰矢の如し」である。自分としては「鉄砲玉の如し」の感がある。人は年をとれば新しいことはすぐ忘れるが古い事は割と覚えているのだと言うが、それも 70 才位までのことである。80 才前後になるともう新しいことも古いこともない。もうみんな古い壁紙をはがすように、ばらばらと忘却の彼方に流れ去るように忘れてしまう。まさに往事茫々である。

Ver. 2

思春期の始まり・・・あれから５０年
そして今・・・・・・倦怠期のはじまり

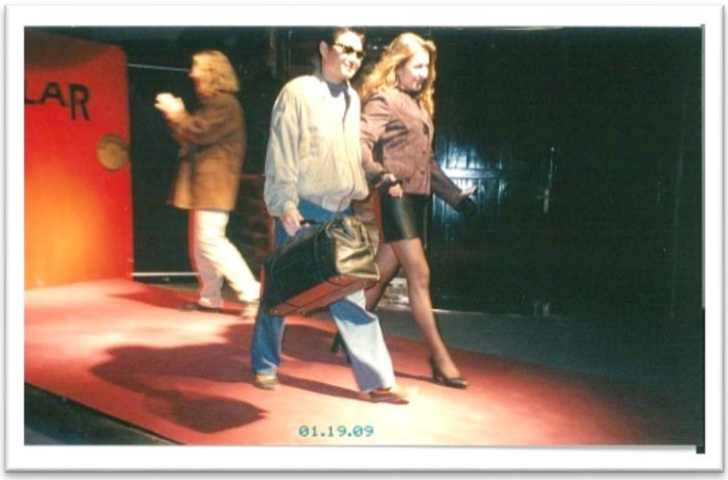




あの頃は俊足だった・・・
そして今・・・関節に痛みが走る

思い出の一枚

Ver. 3



２００９年に知人とトルコへ旅行した時の一枚である。わけもわからず、「皮製品のコレクションショー」に一行諸共連れて行かれ、スタイルのいいモデルの着ている物がその場で購入できるという商法にまんまと乗せられ、愛妻への土産に皮のロングコートを購入。どんなに喜んでもらえるかと期待していたが、「こんな重くて長いコート、日本で着るわけないでしょ」と一喝。落ち着いて考えれば、それもそうだと・・・納得。
とかく旅先での買物は後悔することが多い。ほろ苦い経験をした思い出の一枚である。
皆さんにもそんな経験があるのではないでしょうか・・・

デザインコンセプト

336-A地区は四国四県で構成している準地区です。
ライオンズクラブ国際協会が 100 周年を迎える今年度は、四国はひとつの家族であることを忘れず、仲良く楽しく交流を深め、笑顔で奉仕しましょう。
　また、ライオンズの紋章の周りには、スカイブルーの高知県、オレンジ色の愛媛県、グリーンの香川県、藍色の徳島県がスワロフスキーで囲むように表現しています。
　そして、ライオンズクラブの崇高な精神、誇りを胸に抱き四国の会員の元気を日本中に、更には世界へと広げていきましょう。

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
2016～2017 年度シンボルマーク

編集後記

台風と秋雨前線と思われる雨が続き、子供の運動会(発刊時終了)と一カ月後の祭りが心配な中、新 PR･広報委員会から第 2 号会報誌が発刊となりました！入会して 1 年半の私が副委員長となり、早速先日の西条ライオンズクラブ中学生ソフトテニス大会の取材に欠席というチョンボをしてしまいました。「こんな事で役に立てるのか？」と思いつつも次号が発刊されました。皆様のお力添えの事とありがたく感謝しております。
さて今年度から掲載し始めた『思い出の一枚』どうでしたか？誰が見ても分からない幼少時の写真を載せ、「私は誰でしょう？」みたいなクイズ形式にしても面白いのではないでしょうか。皆様によりもっと興味を持って頂けるような会報誌を作っていきたいと思っていますので、これからも宜しくお願いします。

PR･広報委員会　日野　求

発行者　会　長　今岡正士
幹　事　曽我部克正
ＰＲ・広報委員長　伊藤正己
編集委員　日野　求・明比昭治・塩崎己年夫
徳増達史・森下雄一・瀬川寛清
例会日　毎月　第１・第３火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条商工会館
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ
〒793－0027　愛媛県西条市朔日市７７９－８
西条商工会館３Ｆ
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
E－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.jp
facebook　http://facebook.com/saijo.lions/